

オーバーナイト透析

平成28年7月から原田病院でオーバーナイト透析を開始しました。

オーバーナイト透析とは、夜間の睡眠時間を利用して8時間の透析をすることです。日中の時間が確保できるため、透析に左右されず日常生活を送ることができます。透析時間を充分に確保できるため体に負担の少ない透析となり、体調の改善、合併症の軽減、栄養状態改善など患者さまにとって多くのメリットがあります。

透析時間は長い方が良いと時間延長を推奨されていますが、日中に長時間透析を行うことは困難であるのが現状です。透析時間をもっと確保し患者さまに元気で長生きして頂きたいという思いからオーバーナイト透析を始めることにしました。

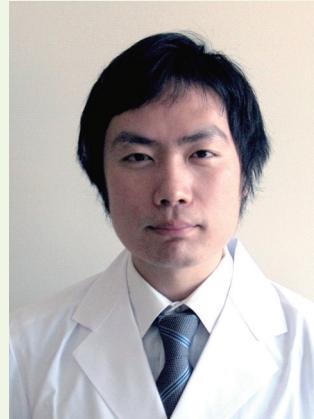
睡眠をスタッフの足音で妨げないよう監視カメラで監視し、針先から血液が漏れた場合の早期発見のため漏血センサーを使用しながら透析を行います。



広島県内でオーバーナイト透析を行う透析施設は当院を含め3施設ですが需要は徐々に増加しています。ベッドは14床準備していますがすぐに満床になる可能性があります。日中の時間を仕事や家事・趣味に確保したい、お話しでも聞いてみたいと思われる患者さまはお気軽に原田病院透析室へご相談ください。

透析情報科主任菅由香里

新任医師紹介



原田病院 腎臓内科
藤野 修

平成28年4月より原田病院腎臓内科で勤務させていただいております藤野 修です。昨年度まではJA広島総合病院に勤務し、腎疾患・内科的疾患の治療に携わっておりました。これから原田病院スタッフの一員として、原田病院ならびに広島西部地区の医療に貢献できるよう研鑽に努めてまいりたいと存じます。また私事ではありますが、2月に第一子も誕生し、子供のいる幸せを日々かみしめております。まだまだ未熟な身ではございますが、皆さまのご期待にそえるよう精一杯勤めさせていただこうと思います。先生方やスタッフの皆さんにご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

近隣医療機関のご紹介 | いつかいち駅前内科 (佐伯区五日市)

「糖尿病や甲状腺の内科系疾患を中心に診療しています。」
今回は五日市駅前にあります“いつかいち駅前内科”的紹介です。

前回のサッカーW杯・ブラジル大会で世界中が盛り上がっていた頃に当院は開院いたしました。それから2年、主に専門医として甲状腺疾患や糖尿病を診療しております。

日々の診療で高度な検査や急な入院の際には、いつも原田病院の先生方に大変お世話になっております。ありがとうございます。

当院は、甲状腺疾患ではバセドウ病や橋本病、甲状腺腫瘍を多く診療しています。経験を活かしてバセドウ病のアイントープ(放射線)治療や甲状腺腫瘍の生検の必要性などは基幹病院と協力して診療しています。また、糖尿病では治療はもちろん合併症精査や療養指導に力を入れています。最近ではインスリン導入や合併症検査のみの紹介も受けて、近隣の先生方と連携しています。

開業して2年とまだまだ未熟ですが、これからも患者さんの将来を見据えたよりよい治療を提供できるよう尽くしてまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

いつかいち駅前内科
院長 粟屋智一

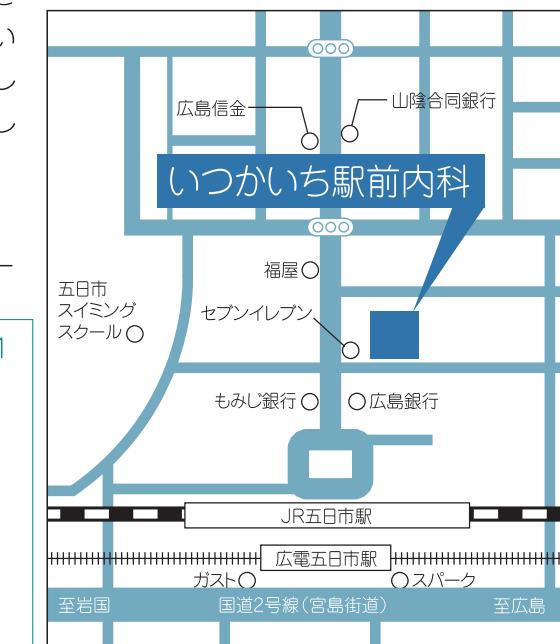
- 所在地 〒731-5125 広島市佐伯区五日市駅前1-5-18-401
TEL: (082)943-6022 FAX: (082)943-6023
- 診療科目 糖尿病・甲状腺内科
- 診療時間 午前8:45~12:00
午後15:00~18:00(土曜日14:30~17:00)
- 休診日 水曜日午後、日曜日、祝日
- 駐車場 30台

リウマチ・膠原病専門外来

原田病院では8月より新しく“リウマチ・膠原病専門外来”を開設いたしました。

○リウマチ・膠原病専門外来
診察時間 毎週月曜日 14時~16時
担当医師 広島大学病院 リウマチ・膠原病科
助教 吉田雄介 医師

診察はすべて予約制になっておりますので、診察を希望される方は右記連絡先までお問い合わせください。



主な対象疾患

- ・不明熱
- ・原因不明の関節炎
- ・関節リウマチ
- ・全身性エリテマトーデスなどの膠原病など



広島大学病院 リウマチ・膠原病科
助教 吉田雄介 医師

TEL082-923-5161
(原田病院代表)

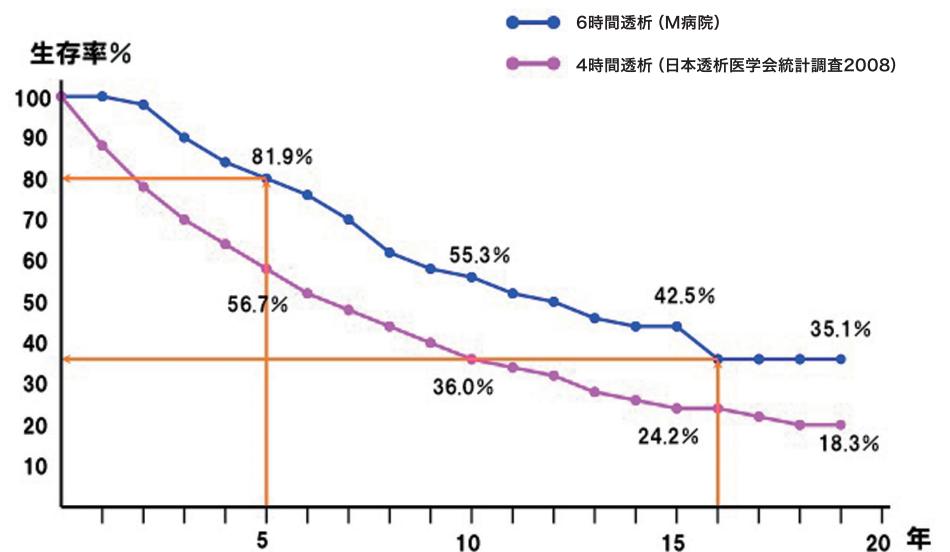




オーバーナイト透析 (Nocturnal Hemo Dialysis:NHD)

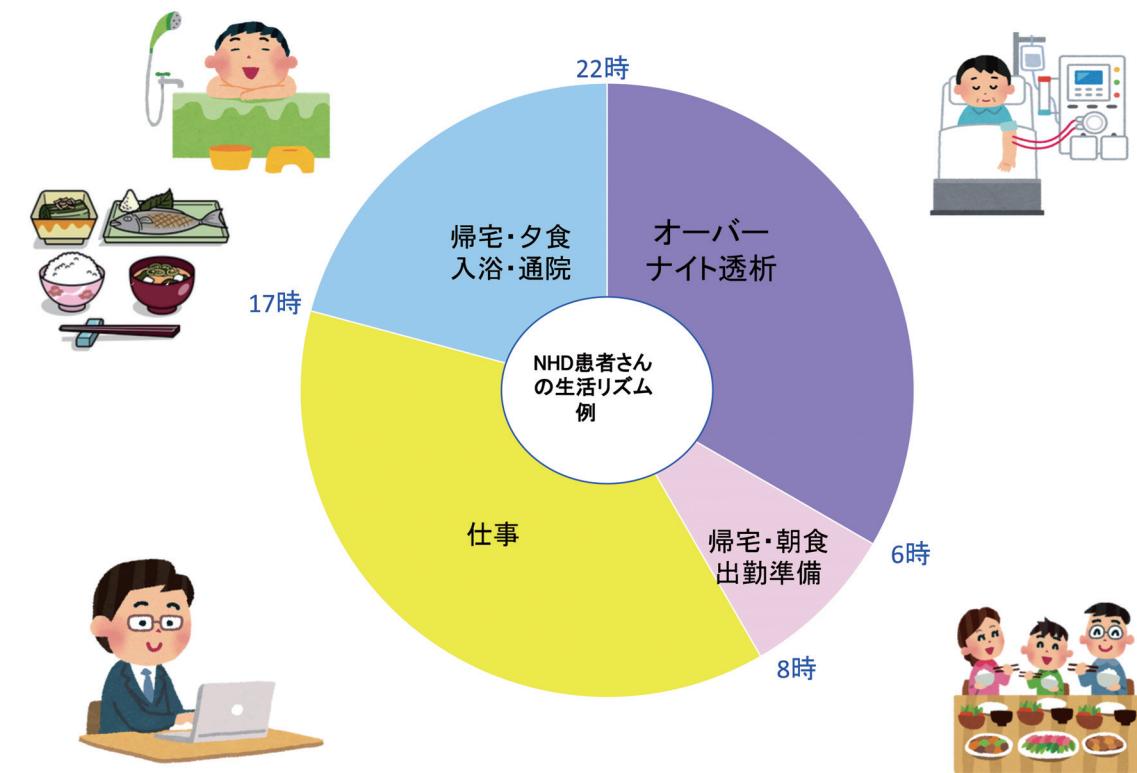
冒頭ページでもご紹介しましたが、オーバーナイト透析（以下NHD）では夜間に来院し睡眠時間を利用して8時間透析を行います。実際にしている患者さまの話では睡眠中に透析するため体感透析時間が短くなるそうです。これまで一陽会では透析患者さまの増加が著しく、その対応として透析ベッドの増床に努めることに精一杯で、長時間透析を行う環境を整えることができませんでした。しかし、患者さまの体調が改善すること、合併症の発症率が減少し寿命延長に繋がること、血管の石灰化が抑えられ腎移植時の生着率が高まることなど、透析時間が患者さまの予後にどれだけ影響するかが明らかになっています。NHDを開始するにあたり、多くのNHD患者さまを抱えている2施設に施設見学へ出向いたり、医療従事者側と患者側両者からの意見を聞き長時間透析の必要性を確信しました。当院では日中の時間確保が困難であるため、夜間であれば可能と判断し開始することにしました。

6時間透析における生存率



曜日は月水金で透析開始時刻は20時～22時、終了時刻は4時～6時です。監視カメラと抜針・漏血検知器、ベッド柵を使用し夜間帯の安全に配慮しながら透析を行います。患者さまには月に1度だけ一般外来受診をして頂き、診察、心電図・レントゲン検査、定期処方を行います。NHD患者さまはシャワールームの無料利用があり、仕事が終わってそのまま来院して頂き透析することが可能です。また、透析が終わってそのまま仕事に行くことや主婦の方は朝帰宅してから家事を行えるため、透析以外の時間を有効活用でき、健常人に近い日常生活を送ることができます。仕事の時間をもっと確保したい方、日中の時間を家事や趣味に使いたい方には最適な透析時間ではないかと思います。

透析患者さまが元気に日常生活を送る上で大切なことはしっかり食べてしっかり透析することです。1回4時間で1週間に3回透析を行う患者さまが大半を占めるのが日本の血液透析の現状ですが、健常人の腎臓が1日に24



時間かけて行っている仕事を透析患者さまは2日に1回4時間しか行えていないということになります。1週間で計算すると健常人の腎臓が168時間かけて尿として水分や毒素を排出しているのに対し、透析患者さまは12時間しか確保できていないということになります。透析患者さまは毒素を排出するための時間が断然不足しているのです。NHDを行うと1週間で12時間しかなかった毒素排出時間が24時間と2倍に増加します。そのぶん毒素がしっかり抜けるため、4時間透析と比較するとよく眠れ、貧血が改善する等注射薬・内服薬の減量に繋がります。そして、食欲が増進し食事量が増すため栄養状態改善に繋がります。また、合併症発症のリスクが低くなり、元気に日常生活を送ることができると、寿命延長に繋がる等患者さまにとってメリットが多いのが特徴です。NHDを経験した患者さまは週3回の4時間透析にはしんどいから戻りたくないと言われます。透析時間を延長した時よりも、一度延長しその後短縮した時の方が透析時間を長くした効果を実感できると経験した患者さまはおっしゃいます。

一陽会4施設に通院中の透析患者さまに調査を行った結果、透析時間の延長を望まれている患者さまは予想以上に沢山いらっしゃることがわかりました。今、我々医療従事者に与えられている課題の一つに、ベッドの回転を工夫し患者さまの透析時間をいかに長く確保するかということが挙げられると思います。今後、透析患者さまが安心して充分に透析できるよう環境を整えていかなければなりません。

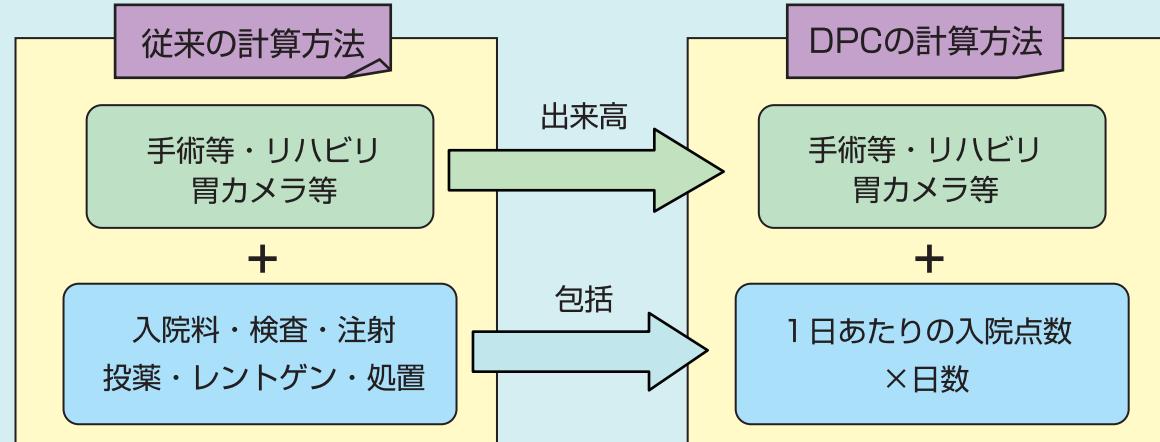
これまで透析患者さまの選択肢として腹膜透析、腎移植、在宅血液透析、日中・夜間の施設透析がありました。更にNHDという透析クールを設けたことにより患者さまの選択肢がまた一つ増えました。NHDで訓練を行い在宅血液透析に移行することも可能です。患者さま一人一人のライフスタイルに合わせて治療方法を選んで頂けるよう前向きに検討をいたします。また、最新の情報を収集し透析医療の変化にスピーディーな対応をしながら、患者さまに心地よく通院していただけるよう様々な工夫を行っていきたいと考えています。NHDに興味がある患者さまが身近にいらっしゃいましたら、お気軽に原田病院透析室へお問い合わせください。

透析情報科 主任 菅 由香里

事務部トピックス Vol.4

【DPC制度(診断群分類に基づく1日当たり定額報酬算定制度)について】

※DPC制度とは、病気の種類と診療内容によって分類された『DPC(診断群分類)』と呼ばれる区分に基づいて、国の定めた1日あたりの定額部分と出来高部分を組み合わせて計算する入院診療費の計算方法です。



※この制度は医療の効率化・透明化を目的に平成15年4月から82の特定機能病院等に導入され、現在、全国の1,667病院に拡大しています。広島県内では当院を含め38病院がDPCを導入しています。

※当院の入院診療費の9割はDPCで請求しています。残りの1割は、「出来高の診断群分類」「治験・高度先進医療等と定められた疾患、症状、状態の患者さま」「保険適用外の医療を受けられる患者さま(自費診療、自賠責、労災等)」などで、従来の計算方法で請求しています。

診療情報管理室 室長 石原真由美

原田病院増築工事に関して

車でご来院の方へ

原田病院増築工事のため患者さま・付添いの方々には大変ご迷惑をおかけしております。

敷地内の駐車場が一部しかご利用いただけないため、距離の離れた臨時駐車場を利用いただいておりますが、体調の悪い患者さまは駐車場に行く前に病院によっていただき、付添いの方が駐車場から帰ってこられるまで、専門のスタッフが対応するよう体制を整えております。

玄関前に車をつけていただければ専門のスタッフがお迎えに参りますので、ご遠慮なくお声掛けください。



Column いきいきさん

第35回 ケアレジデンス楽々園 権田紗代子



感謝の気持ちを忘れず笑顔に努めてまいります。

H25年に入職し、サービス付き高齢者向け住宅ケアレジデンス楽々園で事務をしております。入職当初はケアレジデンス楽々園の開設前で、マニュアルのない新しい環境での仕事に不安な気持ちでいっぱいでしたが、開設から携わってきた貴重な経験は今の私の宝物になっています。

普段は受付で仕事をしているので、忙しい時でも受付に来られた方を笑顔でお迎えするように心がけています。また、勉強の機会をいただき、ヘルパー2級の資格を取得してからは、病院受診の付添など入居者さまの生活をサポートする機会が増えました。入居者さまの笑顔や「ありがとう」の言葉をいただけることに日々やりがいを感じています。



ケアレジデンス楽々園もH28年6月で開設4年目を迎えました。たくさんの方に支えられて今日まで働くことができてあります。これからも感謝の気持ちを忘れず、笑顔に努めていきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

健 康 レ シ ピ

野菜のサワー煮（原田病院の料理の1品です）

今回は疲労回復効果があると言われるお酢を使った料理をご紹介します。お酢に含まれるクエン酸が疲労物質の原因である乳酸を分解し、酸味が味覚や嗅覚を刺激させ食欲を増進させてくれます。お酢は体だけでなく調理する時にも効果が期待できるんですよ。例えば、魚独特の臭みを消してくれます。さらにたんぱく質を分解しやすくしてくれるため、肉・魚料理をやわらかく仕上げることもできます。用途によってお酢を使い分けてみませんか？

穀物酢	加熱料理におすすめ
米酢	加熱しない料理（酢飯、ピクルス、らっきょう漬けなど）におすすめ
リンゴ酢	ドレッシングにおすすめ
黒酢	油の多い中華料理におすすめ

《材料(1人前)》

エネルギー88kcal 塩分0.6g
ベーコン5g(薄切り1/4枚)
玉ねぎ20g(中1/10個)
かぼちゃ50g(1/20切)
トマト30g(中1/4個)※湯むきする
ピーマン10g(約1/2個)
コンソメ0.7g(小さじ1/3弱)
しょうゆ1.5g(小さじ1/3弱)
酢5g(小さじ1)

《作り方》

- ①全ての野菜を2cm角切りにする
- ②鍋でベーコン、玉ねぎを炒め、かぼちゃを入れる
- ③②の鍋に水をひたひたに入れ、トマトを入れてコンソメ、しょうゆ、酢を加えて煮込む。
- ④野菜に火が通ったらピーマンを加え、ピーマンに火が通ったらできあがり



最近はすでに調味されている便利なお酢があります。大さじ1杯(15ml)で砂糖3~7g塩0.3~1g含まれているようです。日本人の食事摂取基準(2015年版)では、塩分の目標量は成人女性では1日に7g未満、成人男性では8g未満となります。上手に利用したいものですね。

栄養科 村上奈都美